

大阪国際がんセンターに＜希少がんセンター＞を新設しました

希少がんセンター所長 大植 雅之

がんの中には多くの方が罹患するがんもあれば、患者数の少ないがんもあります。年間罹患率が人口10万人当たり6人未満と罹患者の少ないがんを「希少がん」と呼んでいます。希少がんは希少であるがゆえに、色々な課題があり、患者さんも医療機関側も困っているのが現状です。これを解決するために、大阪国際がんセンターではこの度、「希少がんセンター」を新しく創設しました。

これまでのがん医療は5大がん（胃、大腸、肺、乳、肝）に代表される common cancer を中心に行われてきて、希少がんの対策は遅れています。がんの専門病院にとっても、希少がんは数が少ないため、経験を積むことが難しく、診断が不正確であったり、標準治療が確立されていなかったりして common cancer に比べて遅れています。患者さん側も適切な情報を手に入れることが難しく、専門の医療機関がどこかわからず困っている方が多く見られます。この状況を少しでも改善することに希少がんセンターは全力を注ぎます。

希少がんセンターは多くの診療科・部門の医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、さらに基礎研究者、疫学研究者等の多職種で構成されています。診療面では的確な診断とベストの治療を実践することに加えて、新しい治療法の開発を推進します。また、多職種の連携で、患者さんの相談支援と情報提供に努めていきます。さらに、関西～西日本のがん診療拠点病院と連携することにより、希少がん診療のネットワーク作りを行い、国立がん研究センターの希少がんセンターとも連携・協力して、情報交換をすることにより、我が国全体の希少がんの状況の改善に努めて行きたいと考えています。

希少がんセンターでは患者さん・ご家族、さらに医療関係者のご相談に対応するため「希少がんホットライン」を開設いたします。どうぞお気軽にご利用ください。われわれ希少がんセンターは今後希少がんの診断、治療の進歩に貢献して参ります。皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



希少がんホットライン

直通電話 06-6945-1177

平日 10時～午後4時（土日祝・年末年始を除く）

希少がんホットラインは専任の看護師（または社会福祉士）が、患者さん・ご家族、一般の方、医療機関スタッフからの＜希少がん＞に関するご相談をお受けします。

ご自身やご家族の希少がんについて知りたいこと、どこで診察を受けることができるか、どこでセカンドオピニオンを受けることができるかなど医療機関に関すること、希少がん治療中の生活のこと、などです。どうぞご活用ください。

（ホットラインの利用に際して）

診断に関することや個別の病状への意見など医学的判断が必要な相談には対応できません。

相談は無料ですが、通話料金がかかります。

正確な情報提供のためにお名前などの個人情報を伺うことがありますが、匿名での相談を希望される場合はお申し出ください。